

ハチャトリアンさんの「ピアノ協奏曲」、毅然としたコンセントレーション、確固とした自信に満ち、微塵の躊躇いのないハイテンション。演奏家の熱き思いを込めた音楽が響き渡る、パワーと輝きの浮かび上がり。恩師が得意としたピアノコンチェルト、薫陶のたまものの証し、築き上げてきた音楽キャリアを問う。記憶の中に忘れ去られた、今では市民権の少ない作品、鮮やかなリメイク再現。

とつづきにくい近代的フレーズと、古き良き時代名残の土着メロディーのごった煮。是非演奏というソリストの強い意志、オーケストラと指揮者を巻き込んで躍動の連鎖、聴衆の親しみ難いという拒否感を熱意で溶かす。馴染みの少ないアルゴリズムを、マイナリティーの言語文法を、繰り返し繰り返し、懇切丁寧にマインドコントロール。相対音感で聴き慣れた旋律の甘い囁きに身を委ねる従来のスタンスに喝、新鮮な刺激チャレンジ。

バルトークさんのピアノ打鍵のメリハリアクセント、無機質な打楽器役割に終わることなく、確める様にしつとり色合い加味、こだわりのオリジナル工夫。音楽を生業とするから、習得した知識や感性を惜しみなく提供、独善空回りでなく、情報の共有と感動の共鳴を目指す。ドラクロワさんの「民衆を導く自由の女神」のイメージ、ジャンヌ・ダルクとかドン・キホーテに非ず。

ラフマニノフさんとプロコフィエフさんを足して2で割った様な、いずれのキャラにもシッカリ成り切り、縦横無尽に八面六臂。しつとりナイーブ叙情的高貴さ、良質なドライモード歯切れよさ。今しかできないという、使命感の追い立て焦り、堅実な積み重ね。引き締まった時間空間、持続貫徹、成功大団円。成就達成の表情のピアニスト、お疲れさま。(2010.6.17)

---

フンパーティ：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲

ハチャトリアン：ピアノ協奏曲 変ニ長調

ベートーヴェン：交響曲 7番 イ長調 Op.92

【オーケストラ】富山シティフィルハーモニー管弦楽団

【指揮者】坂本 和彦

---